

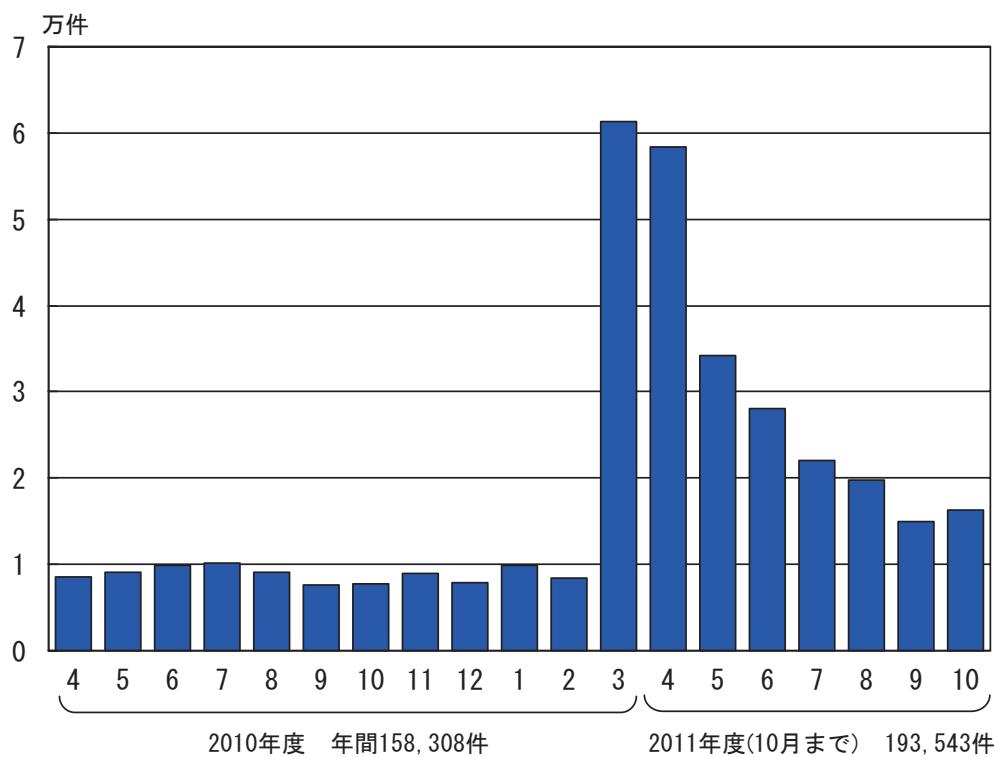
原子力百科事典ATOMICAの運営

(財)高度情報科学技術研究機構
データベース部長
佐藤 治

1. ATOMICAサイトのアクセス件数

3月11日の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故を契機に、ATOMICAへのアクセスが急増しました。また、ATOMICAデータの記載内容や放射線被曝の影響等に関して、メール、電話等での問い合わせが多数ありました。その後、事態の沈静化とともにアクセス数は減っていますが、震災前と比べるとかなり高い水準で推移しています。事故がまだ完全には収束していないこと、広範囲の地域が放射性物質で汚染された状態にあることなどが、その要因と考えられます。

原子力百科事典ATOMICAへの月間アクセス件数の推移



2. データと用語辞書の更新

原子力災害時には根拠の曖昧な様々な情報が飛び交い、これが市民の不安を増幅する要因ともなりがちです。そこで、分かりやすさと専門性を適度にバランスし、かつ正確な情報を発信する信頼性の高い情報源がきわめて重要です。こうした社会的ニーズに応えるべく、今年度もATOMICAデータと用語辞書の更新作業を引き続き進めています。